

一般質問



ゴミ減量化と回収品目の拡大を

角田 喜和 議員

質問 家庭ゴミ処理は広域圏で行っている。循環型社会構築に向けプラスチック製容器及び発泡スチロールなど収集分別品目を市として増やす考えは。

〔市民部長〕 分別収集については、収集品目の拡大も含め、現在広域組合と市町村の事務レベルであります。実施に向けて協議を始めています。

質問 渋川市手話言語条例策定に向け準備が進められている。どのような条例にするのか。また、これを機会に新生児聴力検査の助成の考えは。

〔保健福祉部長〕 ろうあ者団体の発祥の地である渋川市にふさわしい内容となるよう、言語条例制定推進協議会において十分な検討と協議を進めています。聴力検査の助成については、他市の状況を見ながら検討したいと考えています。

質問 (仮称)北橋運動場から基準値を超える六価クロムが検出された。産業廃棄物として土壌の撤去を含め片付ける考えは。

〔建設部長〕 今回、六価クロムが検出された地盤改良土の塊は土砂の扱いです。産廃廃棄物に当たりません。ただし、六価クロムが環境基準値を超えた塊については産廃廃棄物に準じて処理します。その他の土砂等については現状のままで作業を進めます。

質問 六価クロムが基準値を超えたソイルセメントは特別管理産業廃棄物ではないのか。

〔建設部長〕 ソイルセメントは地盤改良土であり、関係法令上、産業廃棄物には該当しません。



投棄された土砂を調査する職員

請願・陳情

採択

○地方財政の充実・強化を求める
請願書

〈要旨〉

地方自治体は、果たす役割が拡大する一方で、人口減少などの新たな課題にも直面している。こうした状況の中、社会保障と地方財政の歳出削減の議論が加速している。地方財政の削減は、国民生活と地域経済に疲弊をもたらす。

政府予算、地方財政の検討に当たり、次の事項の実現を求めます。

- 1 地方自治体の財政需要を把握し、財源確保を図ること。
 - 2 急増する社会保障ニーズに対応できる予算を確保すること。
 - 3 地方財政計画に計上されている財源について、現行水準を確保すること。
 - 4 地方交付税の財政保障・財政調整機能の強化を図ること。
- (請願者 日本労働組合総連合会 群馬県連合会北部地域協議会)

議会の用語を
解説します

〔請願〕

住民から、国や県、市などに対し、さまざまな要望をするものです。

国や県、市は請願を受理する義務がありますが、必ずその内容が実現されるものではありません。

請願をする場合は、請願者の住所氏名、要望の趣旨や理由などを書面にし、議員の紹介を経て、議長あてに提出します。

〔陳情〕

請願と同様に、住民から、国や県、市などに、さまざまな要望や意見の申し出をすることです。

請願との違いは記載内容に決まりがないことと、議員の紹介の必要がないことです。

(※ 渋川市議会では陳情は審査されません。報告のみになります。)

常任委員会行政視察報告

経済建設常任委員会

日程 7月12日～14日
場所 新潟県糸魚川市

ジオパークによる観光振興

糸魚川市は日本で初めて「世界ジオパーク」に認定され、24のジオサイト（地質や文化、歴史を感じられる場所）が存在し、フォッサマグナミュージアムは年間入館者数6万人を維持しています。このように地形や地層などの地質的特徴を観光資源として位置づけ、学習活動やジオツーリズムなどを積極的にを行い、地域振興に取り組んでいました。

まちなか観光

七尾市の中心市街地はかつての城下町であり、町家造りや寺院群などの歴史的建造物が見られます。

郊外の開発により市街地の空洞化が進む中、残された歴史的建造物と地域の庶民の風習である「花嫁のれ

ん」を生かした「まちなか観光」を行い、賑わいの創出に取り組んでいました。



経済建設常任委員会の行政視察

教育福祉常任委員会

日程 8月22日～24日
場所 青森県十和田市 青森県弘前市

日本一を目指した特色ある教育活動の推進

平成17年に新設合併により誕生した十和田市では、小・中学校で各校が決めた活動テーマにおいて創意工夫し日本一を目指す、特色ある教育活動を行っています。費用は教育委員会が市長特別枠予算で確保し、

12月市議会定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
11/27	28	29	30	12/1	2	3
		本会議 (開会・議案上程)	本会議 (議案上程)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
4	5	6	7	8	9	10
	本会議 (一般質問)	常任委員会 (総務市民・経済建設)	常任委員会 (教育福祉)	常任委員会 (予算)		
11	12	13	14	15	16	17
	本会議 (表決・閉会)					
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

○本会議は午前10時から開会します。

○日程が変更されることがあります。ホームページ等でご確認ください。

3年計画で26校に計240万円を助成しました。市の教育力で児童の自信をつくり出していました。弘前市駅前子ども広場
商業施設の3階フロアを使用し、子育て支援センター（託児所、授乳室、トイレ、多目的室、相談室）と遊び場（木製の遊具が主なもの）を整備。その周囲には、行政総合窓口や高齢者



教育福祉常任委員会の行政視察

健康トレーニング室等があり、市民の憩いの場としても活用されていました。

渋川市議会はインターネット中継しています。渋川市ホームページからご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www.city.shibukawa.lg.jp/>

